

境内社

とよみさき

豊御崎神社

御祭神

品陀和氣命 猿田毘古神 土御祖神（元末社 八幡社祭神）

石長比売命（元西瀬古鎮守 磐長神社祭神）

弥都波能売神（元一色鎮守 丹生宝山神社祭神）

須佐之男神（元中瀬古鎮守 本丸牛頭天王祭神）

（元中町鎮守 須賀神社祭神）

（元市場鎮守 八雲神社祭神）

五男三女神（元北町鎮守 八王子社祭神）

（元釈迦堂鎮守 南八王子社祭神）

金山毘古神 建御雷男神 大日靈貴命

大山祇命 大鷦鷯命 徳川頼宣公

天之御中主神 伊邪那美神 天忍穗耳命 天御蔭命 大年神 宇迦之御魂神 天神地祇

菅原道真公（元西宮神社祭神）

八百万神 天児屋根命（元三大神社祭神）

御例祭 毎年十月十六日

由緒 古くは稲生村の総称を豊御崎（とよのみさき）と言った。現在の御崎地区を谷瀬古と言った時の鎮守の宮で、旧稲生公民館地内にあった。明治二十五（一八九二）年、小学校が建てられた頃、伊奈富神社の境内に移ったと思われる、その後、明治四十一（一九〇八）年九月三日、伊奈富神社境内社の八幡社に、稲生村内の各氏神社とともに合祀された。稲生大明神末社の一宮である。現在の社殿および前の玉垣や拝所は、皇紀二千六百年を記念して昭和十五（一九四〇）年、大井富蔵翁の一寄進によって成ったものである。当時の宮司は赤塚李三郎。氏子総代は磯部丈助、鈴木長蔵、渥美権右工門、生川仙蔵、鈴木八弥、中川多蔵。大工棟梁は小野儀蔵、鈴木倉橋。